

## 安政五年の幕末佐賀藩購入書籍にみる西洋医学の受容

小澤 健志

一、はじめに<sup>①</sup>

九州の雄藩の一つで、福岡藩とともに長崎・出島の警護を行っていた佐賀藩は、一七世紀初頭から西洋医学の受容を行っていた。一九世紀中

頃には全国に先駆けて種痘を成功させたり、嘉永四年（一八五二）には医師レベルの向上と医師たちの医学知識の向上を目的とした医師免許制度を実施する等、幕末の日本における西洋医学の受容と啓蒙の黎明期に大きな役割を果たした。佐賀藩のこのような活動を支えたのは、藩内の多くの医師たちを長崎・出島のオランダ人医師・教師のもとに留学させたり、他藩の名医のところに留学させたこと、さらに多数の西洋医学書（オランダ語による医学書）を所有していたことがその要因として考えられる。前者についての研究は青木歳幸氏の研究があり、後者については、板沢武雄氏、松田清氏等による調査・研究報告がある。幕末の佐賀藩が幕末に所有していたオランダ語の医学書のリストは、佐賀県立図書館に保管されている。<sup>④</sup>

筆者は二〇一四年の論考において、佐賀藩は嘉永年間から慶応年間（一八四八年～一八六八年）の約二〇年の間に、六八種類の医学書を所有していたことを明らかにした。<sup>⑤</sup> さらに筆者がそのリストに記載されていた書籍を精査した結果、オリジナル言語がドイツ語でオランダ語へ翻訳された書籍

が一九冊<sup>⑥</sup>、次はオランダ語がオリジナルの書籍が一二冊であり、執筆当時の肩書で最も多かったのは大学教師一四名、次は臨床医で一〇名であったこと。また、書籍の医学専門分野（内科書、外科書等）は、最も多く所有していた書籍は外科学書を九冊、次が内科書で八冊あることを明らかにした。

本稿で取り上げる佐賀藩が安政五年（一八五八）十二月に購入した医学書の目録は、正式には「安政五年十二月御買入蘭書目録」というタイトルで、長崎学の先駆者である長崎高等商業学校（現在の長崎大学経済学部）教授であった武藤長蔵博士（明治一四年（一八八一）～昭和一七年（一九四二））の遺品の中にあり、現在は同大学附属図書館経済学部分館に保管されている。<sup>⑦</sup> 佐賀藩が理学書、兵学書、算術書など一七六冊を購入した目録であり、その中で医学書は三九種類の書籍を四二冊購入していることが記載されている。筆者がこの医学書目録について調べた理由は次の二点である。

一点目は、安政五年は佐賀藩の医学界にとって特筆すべき年であり、この年に購入したオランダ語の医学書を精査することは、上述の佐賀藩の全国に先駆けた医学政策の様子を知る手掛りになると思ったからである。佐賀藩ではこの年の九月、佐賀藩は領内で医業を行なう場合、「御側医師は申すに及ばず、陪臣、町医、郷医に至るまで蘭方修行」が義務付けられた。

藩内で医療活動を行なうにあたり、西洋医学（オランダ医学）の知識を習得することが義務付けられたのである。そして十二月には、これまで藩内の西洋医学の受容・教育の中心であった藩病院兼医学校「医学寮」を「好生館」と改名し、その施設を充実させた<sup>8</sup>。目録に記載されている書籍を精査することによって、これらの読者対象者が明らかになり、九州の雄藩の一つであった佐賀藩の当時の医学（教育）水準、及び当時の好生館を運営する上で充実させようとした専門分野を知る手掛かりになると思われるからである。

二点目は、西洋医学史的な観点から安政五年は、すでに西洋医学の中心地がすでにフランス医学（パリ病院医学）からドイツ医学（顕微鏡医学）へ移行していた時期である<sup>9</sup>。佐賀藩は幕府本体及び各藩に先駆けて、藩医学校好生館においてドイツ語によるドイツ医学教育を行っており、明治に入り日本の医学教育にドイツ医学を採用するに貢献した相良知安は、この好生館出身である。本稿では、オランダ語の医学書を取り上げるが、さらにそれらの書籍のオリジナル言語（オランダ語、ドイツ語、フランス語、英語）についても調査を行なっている。これを調べることは、佐賀藩の医学界（医学教育）がドイツ医学の影響を得ていたのか、フランス医学の影響を得ていたのかを考察する材料の一つになり、このことは、日本の西洋医学受容の黎明期の様子を知ることができると思っている。

## 二、出版年と専門分野

安政五年十二月に佐賀藩が購入した医学書三九種類四二冊の洋書は、すべてオランダ語で書かれたものである。佐賀藩がこれらの医学書を購入す

る前年の安政四年九月（一八五七年十一月）には、長崎においてお雇いオランダ人医学教師オランダ海軍軍医ポンペ（Johannes Lydius Catharinus Pompe van Meerdervoort、一八二九～一九〇八）が医学教育を開始した。佐賀藩医学関係者の多くがここで学んでいる。佐賀藩が医学書を購入するにあたり、ポンペの助言により自身が医学生時代に使用していたテキストやオランダのユトレヒト陸軍軍医学校で使用されている書籍を購入したことは容易に想像できる<sup>10</sup>。三九種類四二冊のうち、二部購入しているのは、クーラント著の『病理学と治療学のハンドブック』<sup>2</sup>、クワリン・ウイレミール著の薬学書及びフォルジュ著の船医のための治療書<sup>5及び11</sup>であり、その他三六種類の書籍は、一部ずつ購入している<sup>11</sup>。この章では三九種類の医学書について、これらの書籍のオランダでの出版年とオリジナル書籍の出版年、専門分野（基礎医学と臨床医学）とこれらの書籍のオリジナル言語、著者の国籍と肩書きと読者対象者について明らかにすることによって佐賀藩が購入した書籍の特徴を明らかにする。

### 二、一 オランダ語版の出版年とオリジナル言語の出版年の比較

最初にオランダ語版の書籍であるが、最も古いものは、一八二二年から一八三六年に出版されたオンセノール著の外科学書で、最も新しいものが佐賀藩が購入する二年前に出版された安政三年（一八五六）に出版されたケルスト著のオランダ軍の軍事医療業務に関する書籍であった<sup>12</sup>。三九冊の出版年を、安政五年（一八五八）から五年間隔で年代を区切って表すと以下のようになる<sup>13</sup>。

表二 オリジナル言語とその出版年

出版年	オランダ語 (冊数)	ドイツ語 (冊数)	フランス語 (冊数)	英語 (冊数)	合計
1854-1858 <sup>(21)</sup>	6	0	0	1	7冊
1849-1853 <sup>(22)</sup>	3	6	0	1	10冊
1844-1848 <sup>(23)</sup>	1	1	0	1	3冊
1839-1843 <sup>(24)</sup>	2	6	1	0	9冊
1834-1838 <sup>(25)</sup>	1	1	0	1	3冊
1829-1833 <sup>(26)</sup>	0	1	2	0	3冊
それ以前 <sup>(27)</sup>	1	1	2	0	4冊
合計	14冊	16冊	5冊	4冊	39冊

表一 オランダ語版の出版年

出版年	オランダ語版 (冊数)
1854-1858 <sup>(14)</sup>	8
1849-1853 <sup>(15)</sup>	13
1844-1848 <sup>(16)</sup>	7
1839-1843 <sup>(17)</sup>	5
1834-1838 <sup>(18)</sup>	4
1829-1833 <sup>(19)</sup>	0
それ以前 <sup>(20)</sup>	2
合計	39冊

この表からは、一八四九年から安政五年までの一〇年間に出版された書籍を最も多く所有し、全体の約半数を占めていることが明らかになる。

上述のように三九種類の書籍はすべてオランダ語で書かれているが、多くはドイツ語、フランス語、英語からの翻訳である。三九種類のオランダ語の書籍のオリジナル言語を調べ、その書籍の出版年を調べた結果が以下の表である。

この表からわかるように、オリジナル言語がドイツ語の書籍（ドイツ語からオランダ語への翻訳書）のものが最も多く、次にオランダ語の書籍が多い。また、オリジナル版がフランス語の書籍は、一八三九年から一八四三年以降に刊行されたものはない。この事実は一八四三年ごろを境に、西洋医学がフランス医学からドイツ医学へと転換した史実と符合する<sup>(28)</sup>。安政五年に購入した医学書は、佐賀藩の医学関係者がオランダ商館を通じて書籍名を指定して購入したものなのか、また、オランダ商館関係者がオランダで購入してきたものを、佐賀藩が長崎で購入したものなのか、購入方法に関する詳細なことは管見ではわからない。しかし、佐賀藩の医学関係者はこのとき購入した臨床医学書の多くがドイツ語で書かれた書籍のオランダ語への翻訳書籍であったことを理解し、西洋医学界におけるフランス医学からドイツ医学への移行をこれらの書籍を通して認識できていたと思われる<sup>(29)</sup>。

## 二、二 専門分野とオリジナル言語

三九種類の書籍を基礎医学と臨床医学の専門分野に分類し、これらのオリジナル言語を調べた結果が表三、四である<sup>(30)</sup>。

表三 基礎医学書とオリジナル言語

基礎医学					
	オリジナル言語				
	ドイツ語	オランダ語	フランス語	英語	のべ冊数
解剖学 <sup>(31)</sup> (書)	1	1	2	0	4冊
生理学 <sup>(32)</sup> (書)	1	1	0	0	2冊
衛生学 <sup>(33)</sup> (書)	0	0	1	0	1冊
病理学 <sup>(34)</sup> (書)	3	0	0	0	3冊
薬学 <sup>(35)</sup> (書)	0	5	0	0	5冊
合計	5冊	7冊	3冊	0冊	15冊

表四 臨床医学書とオリジナル言語

臨床医学					
	オリジナル言語				
	ドイツ語	オランダ語	フランス語	英語	のべ合計
外科学 <sup>(36)</sup> (書)	1	4	2	0	7冊
内科学 <sup>(37)</sup> (書)	0	0	1	0	1冊
産科学 <sup>(38)</sup> (書)	3	2	1	0	6冊
眼科科学 <sup>(39)</sup> (書)	2	2	0	0	4冊
婦人科学 <sup>(40)</sup> (書)	1	1	0	0	2冊
小児科学 <sup>(41)</sup> (書)	0	0	0	1	1冊
その他 <sup>(42)</sup>	8	3	1	3	15冊
合計	15冊	12冊	5冊	4冊	36冊

これを見るに、基礎医学書一五冊に対し臨床医学書三六冊と基礎医学書の書籍数と臨床医学書の書籍数はおよそ三対七の割合になっており、安政五年当時の佐賀藩は基礎医学書より臨床医学の知識の習得に重点を置いていたことがわかる。その臨床医学書三六冊の中で、一五冊を占めるその他の分野を占めるのは、大半が治療書であり、次に外科学書が七冊、産科学書が六冊である。また、オリジナル言語別に基礎医学書と臨床医学書を集計すると、最も多いオリジナル言語は二〇冊のドイツ語である。<sup>(43)</sup>

## 二、三 読者対象者

次に三九冊の書籍のタイトルより、読者対象者を三つのレベルに分類する。初級レベルは、ユトレヒト陸軍軍医学校で使用されていたテキスト、及びタイトルに教本 (Leerboek, Lehrbuch, textbook)、ハンドブック (Handboek, Handbuch, Handbook) という言葉が含まれているものである。これらの書籍は、読者対象者を医学修学初心者として書かれたものと思われる。これに該当するのは二四冊あり、専門分野の内訳は基礎医学が一冊、臨床医学が一六冊である。<sup>(44)</sup> 次に中級レベルは、臨床医のようにすでに医学教育機関で学んだ医療関係者向けに書かれたもので、主に専門的な治療書で、すでにいる医学を習得した者を対象としたと思われる書籍とする。これに該当するものは一三冊あり、専門分野別の内訳は、基礎医学書が一冊、臨床医学書が一二冊である。<sup>(45)</sup> 最後の上級レベルは、医療関係者の上級者を対象とした書籍とし、これには、学術雑誌及び複数の大学教授と医師たちが共著で執筆した著書が一冊ずつ、合計二冊が該当した。<sup>(46)</sup> まとめると表五のようになる。

表五 読者対象者と専門分野

	基礎医学書 (のべ冊数)	臨床医学書 (のべ冊数)	のべ冊数
医学初心者向け	11	16	24冊
医療関係者向け	1	12	13冊
上級者向け	0	2	2冊
のべ冊数	12冊	30冊	39冊

このことから、基礎医学、臨床医学ともに医学初心者向けにかかれた書籍が最も多いと言える。このことは、「表六 著者の国籍と執筆時の肩書」で、著者の肩書きが教師である書籍が大半を占めていることと一致している。これらの書籍は、教師たちによって、医学生向け及び医療関係者向けに書かれたものと思われる。

表六 著者の国籍と執筆時の肩書

	ドイツ語圏	オランダ	フランス	イギリス	合計
大学教師 <sup>(48)</sup>	10	1	1	0	12名
地方医学校教師 <sup>(49)</sup>	1	1	0	0	2名
病院医学校教師 <sup>(50)</sup>	0	0	1	1	2名
軍医学校教師 <sup>(51)</sup>	0	2	0	0	2名
医師 <sup>(52)</sup>	6	4	2	2	14名
薬剤師 <sup>(53)</sup>	0	1	0	0	1名
その他 <sup>(54)</sup>	3	1	0	0	4名
不明 <sup>(55)</sup>	1	5	0	0	6名
合計	21名	15名	4名	3名	43名

三、一 著者の国籍と執筆時の肩書  
この表を見るに、著者数はドイツ語圏の国籍者が二一名であり、不明者の六名を除いた三七名のうち約五六%を占めている。また、執筆時の肩書は医師が一四名と最も多く、次に大学教師の一二名となっている。全著者数四三名のうち一〇名がドイツ語圏の大学教師であり、佐賀藩が購入し

### 三、執筆者と専門分野<sup>(47)</sup>

表七 肩書と基礎医学書

	解剖学(書)	生理学(書)	衛生学(書)	病理学(書)	薬学(書)	のべ合計
大学教師 <sup>(57)</sup>	2	0	0	0	1	3冊
地方医学校教師 <sup>(58)</sup>	0	0	0	1	0	1冊
病院医学校教師 <sup>(59)</sup>	1	0	0	0	0	1冊
軍医 <sup>(60)</sup>	0	1	0	0	1	2冊
医師 <sup>(61)</sup>	0	0	1	2	1	4冊
薬剤師 <sup>(62)</sup>	0	0	0	0	1	1冊
その他 <sup>(63)</sup>	0	1	0	2	0	3冊
不明 <sup>(64)</sup>	1	0	0	0	2	3冊
合計	4冊	2冊	1冊	5冊	6冊	18冊

た医学書は大学教師が学生、研究者、臨床医向けに執筆した書籍が多くを占めていたことがわかる。これらの書籍を読んで医学を習得した佐賀藩の医学関係者は、購入した臨床医学書の多くがドイツ語で書かれた書籍のオランダ語への翻訳書籍であったことを認識できていたはずである。このことは「表二 オリジナル言語とその出版年」で導かれた結果と一致し、この史実を裏付けけるものである。

### 三、二 著者の肩書と執筆分野

著者の肩書と、書籍の専門分野を分類すると以下の通りである。<sup>(56)</sup>

表八 肩書と臨床医学書

	外科学 (書)	内科学 (書)	産科学 (書)	眼科学 (書)	婦人科学 (書)	小児科学 (書)	その他 (書)	のべ 合計
大学教師 <sup>(65)</sup>	2	0	3	1	2	0	3	11冊
地方医学校教師 <sup>(66)</sup>	0	0	1	0	0	0	1	2冊
病院医学校教師 <sup>(67)</sup>	0	0	1	0	0	1	0	2冊
軍医 <sup>(68)</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0冊
医師 <sup>(69)</sup>	5	2	1	1	0	0	9	18冊
薬剤師 <sup>(70)</sup>	0	0	0	0	0	0	0	0冊
その他 <sup>(71)</sup>	0	0	0	1	0	0	2	3冊
不明 <sup>(72)</sup>	1	0	1	1	0	0	3	6冊
合計	8冊	2冊	7冊	4冊	2冊	1冊	18冊	42冊

以上、二つの表を見るに、表八のその他の分野一八冊を除いて、最も多く購入している分野の書籍は外科書で八冊、次は産科学書で七冊、同様に薬学書で六冊という順になっている。また、基礎医学書、臨床医学書ともに著者の肩書きで最も多かったのが医師であり、両分野の医学書の総合計のべ六〇冊のうち医師が執筆した書籍が二三冊を占め、医学書総合計の三

六％を占めている。次に大学教師が執筆した書籍が一四冊を占め、同様に二三％を占め、両者の書籍で総合計の六〇％を占めている。病院医学校教師が執筆した書籍が両分野で三冊と少ない。ドイツ語圏の著者による書籍が多かったことから、これらの書籍（ドイツ語版からの翻訳書）を読んで医学を習得した佐賀藩の医学関係者は、購入した臨床医学書の多くがドイツ語で書かれた書籍のオランダ語への翻訳書籍であったことを把握できていたと思われる。以上のことは、「二、一オランダ語版の出版年とオリジナル言語の出版年の比較」で導いた結果と一致する。

#### 四、医学書と購入医師たち<sup>(73)</sup>

添付資料1安政五年医学書目録をもとに佐賀藩が購入した医学書と、その一部を購入した七名の人物を購入書籍の多い順に記す。大石良英（文化七?（一八一〇）〜元治二年（一八六五））、安政五年当時の肩書きは、佐賀藩医学寮教導方で、免状分野は内科及び外科である。彼が購入した六冊の内訳は以下の通りである。『2』（病理学書）、『3』（薬学書）、『4』（その他）、『10』（眼科学書）、『17』（薬学書）、『34』（眼科学書）。牧春堂（文政四年（一八二二）〜文久三年（一八六三））、当時の肩書きは、佐賀藩医学寮助手で、免状分野は内科である。彼が購入した六冊の内訳は以下の通りである。『1』（解剖学書）、『3』（薬学書）、『6』（その他）、『30』（外科学書）、『31』（産科学書）、『33』（産科学書）。城島淡堂（文化一〇年（一八一三）〜?）、当時の肩書きは佐賀藩医学寮教職、免状分野は内科である。彼が購入した三冊の内訳は以下の通りである。『8』（その他）、『27』（その他）、『28』（その他）。井上仲民（文政七（一八二四）〜明治六年（一八七

三三)、当時の肩書きは、佐野孺仙門人で、免状分野は外科である。彼が購入した三冊の内訳は以下の通りである。『23』(その他)、『26』(その他)、『38』(外科学書)。大庭雪斎(文化二(一八〇五)〜明治六年(一八七三))、当時の肩書きは佐賀藩医学寮教導方頭取で、免状分野は内科及び外科である。彼が購入した二冊の内訳は以下の通りである。『15』(薬学書)、『24』(生理学書)。林梅馥(?-?)、当時の肩書きは佐賀藩医学寮教職、免状分野は外科である。彼が購入した一冊の内訳は、『7』(外科学書)。松隈元南(文化二二(一八二五)〜明治二年(一八六八))、当時の肩書きは師匠、隠居で、免状分野は内科及び眼科である。彼が購入した一冊の内訳は、『13』(外科学書)である。

## 五、終わりに

本稿で明らかにしたことは以下の通りである。

安政五年十二月、佐賀藩医学校好生館が本格的に西洋医学の導入を開始した時期に購入したオランダ語の医学書三九部四二冊のうち、基礎医学書と臨床医学書とを分別したとき、臨床医学書の割合が多く、その中でも外科学書、産科学書が多かった。また、これらの著者の肩書きは、最も多いのは医師、次に大学教師という順であった。そして、書籍の読者対象者は、医学初心者向けの書籍数が二四冊で最も多く全のべ冊数の六一%を占め、次に医療関係者向けが一三冊で三三%を占め、上級者用が二冊で五%を占めていた。これらのことより、臨床経験が豊富な医師と、臨床経験は少ないがアカデミックな知識が豊富な大学教師たちによって執筆された医学初心者向けに書かれた書籍によって、佐賀藩の西洋医学の導入が行われたこ

とがわかる。そして、臨床医学の中でも、特に外科学書、産科学書に重点を置いていたことが明らかになった。

次に、書籍の出版年を安政五年から五年間隔で区切ってみると、一八四九年から一八五三年に出版された書籍が一番多く、二〇年以上前に出版された書籍が含まれていた。また、これらの書籍はドイツ語からオランダ語に翻訳したものが最も多かった。著書の肩書きもドイツ語圏の者が多かった。そして特筆すべき点は、フランス語の医学書は一八四三年に出版されたもの(その後オランダ語に翻訳され一八五二年に出版)以降は存在せず、その後はドイツ語からの翻訳書が大部分を占めていたことである。このことは西洋医学界のフランス医学からドイツ医学への移行時期と符合しており、佐賀藩がこの事実を、安政五年当時にすでに把握していた可能性が高い。このことは九州の一番の佐賀藩の西洋医学受容史のみならず、日本における西洋医学の受容史上に特筆すべきことである。

## 謝辞

この論考を執筆するにあたり、多くの方にお世話になりました。平成二五年一二月に行われた佐賀医学史研究会、及び日本医学史学会・日本薬学史学会・日本獣医史学会・日本歯科医史学会・日本看護歴史学会・洋学史史学会の会場の皆様には、貴重なご教示をいただきました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

## 添付資料 1 安政五年医学書目録<sup>2)</sup>

『1』 解体書 エ、チュウハト。アレキサンデル、ファウト著 千八百三十六年同七年ハンドブック テル プラクチーセ ヲントレート



キユンデ 全二冊 牧 百六十枚

Lauth, Ernest Alexandre (1803-1837), Handboek der practische ontleedkunde, of beschrijving van al de deelen des menschelijken ligchams, Rotterdam [etc.]: Van den Heuvel, 1836-1837.

【オリジナル言語フリンス語】

Nouveau manuel de l'anatomiste, comprenant la description succincte de toutes les parties du corps humain et la maniere de les préparer ; suivie de préceptes sur la confection des pièces de cabinet et sur leur conservation. Paris, Levrault, 1829.

ラウト著『実践の解剖学ハンドブック』

『2』 人体治療書 ハ、エ、リクテル著 千八百五十四年 コウランツ、ハンドブック、デル、ベイソントレ、シーキテキユンデ 全二冊 二部 大石 島田 三百十枚

Hermann Eberhard Friedrich Richter (1808-1876) ; Johann Ludwig Choulant (1791-1861) ; Levy Ali Cohen (1817-1889), Choulant's Handboek der bijzondere ziektekunde en geneezingsleer van den mensch, Groningen : Wolters, 1854-1855.

クーラント著『人体の特殊な病理学と治療学のハンドブック』

『3』 医書 ノ、ア、クスワエリン、ウエルレミール著 千八百五十四年 ハンドレイヂング、デル、ゲリースミッテルレール 全一冊二部 牧 大石 百四十枚

Quarin Willemier, G. A. F. : Handleiding der geneesmiddelleer. Utrecht, Brose, 1854. 581pp.

クワリン・ウイレミール著『薬学提要』

『4』 医療用書 イ、フ、ケルスト著 千八百五十六年 ミリタルゲ子

スキュンデハ、ファルドゼーノスト 全一冊 大石 四十九枚

Kerst, J. F. Militair-geneeskundige velddienst voor officieren van gezondheid van het Nederlandsche Leger ; tevens bestemd tot handleiding bij het onderwijs aan's Rijks-Kweekschool voor Militaire Geneeskundigen, Utrecht, Broese, 1856.

ケルスト著『オランダ軍陸軍医官用陣中要務』

『5』 船中内外医書 イ、ブ、トンベリンク著 千八百四十四年 ハンドブック フアールシケープスゲリースキユンデゲン ベファッテンデ ゲソントハイツレール、ゲネース、エン 全一冊 八十六枚

Forget, Charles Polydore : Handboek voor scheeps-geneeskundigen, bevattende de gezondheidsleer, genees-en heilkunde, Amsterdam : Van Bakkenes, 1844.

【オリジナル言語フリンス語】

Médecine navale ; ou, Nouveaux éléments d'hygiène, de pathologie et de thérapeutique médico-chirurgicales. Paris, Baillière, 1832.

フォルジュ著『船医必携 衛生学・内科学・外科学を含む』

『6』 治療書 コンス、ブリユック著 千八百三十四年 ゲリースキユンデハ ハンドブック 全二冊 四十枚 牧

Consbruch, Georg Wilhelm Christoph (1764-1837), Geneeskundig handboek voor praktische artsen, 3e dr Amsterdam, 1834.

【オリジナル言語ゲルマン語】

Allgemeine Encyclopädie für praktische Aerzte und Wundärzte, Leipzig, 1808-1828

コンスブリュック著『臨床医のための実用的なハンドブック』

【7】 外科書 ランセノールト著 千八百三十六年 オペラチーフエール  
キュンデ 全四冊 三百四十頁 林

Onsenoort, Antonius Gerardus van (1782-1841), *De operative  
heelkunde stelselmatig voorgedragen.* Amsterdam, C. G. Sulpke,  
1822-1836. 3vols.

オンセノールト著『大系外科医学』

【8】 セ・デ・レイセンリンク著 千八百四十四年 ナチュールキュンデ  
ランドルスリーテルホルストホルテ 全一冊 十四頁 城島

Leichsenring, C.D. *Natuurkundig onderzoek der borstholte door  
middel van het gezigt, het gevoel, de percussie en de auscultatie: tot  
herkenning van den gezonden en ziekelijken toestand der  
werktuigen van de ademing en van den bloedsomloop.* Utrecht,  
Broese, 1844.

【オリジナル言語ドイツ語】

Leichsenring, C.D. : Friedrich Julius Siebenhaar (1802-1862), *Die  
physikalische Exploration der Brusthöhle zur sicherern Erkenn-  
tmiss des gesunden sowohl als des krankhaften Zustandes der  
Athmungsgund Circulations-Organen.* Bevorwortet von F. J.  
Siebenhaar. Leipzig, 1843.

ライヒセンリンク著『視覚と接触を通しての胸腔の物理的療法』

【9】 解体書 人名記せず 千八百四十年 メモランダ デル アルメー  
子ラントレイトキュンデ 全一冊 十頁

Memoranda der algemene ontleedkunde. Amsterdam, 1840.

著者不明『一般解剖学の覚書』

【10】 眼療ノ子ヲ記スル書 ドル、ハ、ム、チュバルク著 千八百五十五  
年 ゲソンド(イッツレール、デルラーゲンウエンケン エンラード  
ゲービングエン トットヘットベホウド ファン ヘットゲングト  
全一冊 十頁 大石

Duparc, H.M., *Gezondheidsleer der ooggen : wenken en raadgeving-  
en tot het behoud van het gezigt.* Amsterdam : Allart & Van der  
Made, 1855.

デュバルク著『目の健康教育について』

【11】 船医学 イ、ブ、トムペリニング著 一八四四年 ハンドブック フ

ラール シケーブスゲ子ースキュンデハ、バッテンデ デ ゲソ  
ドハイツレーレ、ゲ子ースエンヘルキュンデ 全一冊 七十頁

C. Forget, *Handboek voor scheeps-geneeskundigen, bevattende de  
gezondheidsleer, genees-en heelkunde.* Door J. A. Dompeling vrij

bewerkt naar het Fransch van C. Forget. Amsterdam, van  
Bakkenes, 1844. XVI, 631.

【オリジナル言語フランス語】

Médecine navale : ou, Nouveaux éléments d'hygiène, de pathologie  
et de thérapeutique médico-chirurgicales. Paris, Baillière, 1832.  
2vols.

フォルジエ著『船医必携 衛生学・内科学・外科学を含む』

【12】 人身解体書 ドル、セ、エ、ホック千八百四十年ヨリ四十二年 ハ  
ンドブックデルラントレーデキュンデ、ファン、デンメンヌ 全三

冊 島内 百五十頁

Bock, Carl Ernst (1809-1874), Handboek der ontleedkunde van den mensch : in verband beschouwd met de natuurkunde van den mensch en de heekkundige ontleedkunde. Naar het Hoogduitsch door Dr. P.H.Pool. Amsterdam : Bij H. Frijlink, 1840-1841. 3 vols.

【オリジナル言語ドイツ語】

Handbuch der Anatomie des Menschen : mit Berücksichtigung der Physiologie und chirurgischen Anatomie. Leipzig, Volckmar, 1838.

ボック著『生理学及び外科解剖学からみた解剖学提要』

『13』 眼病内外治療書 ア、ゲ、ファン、ランセノールト 千八百三十九

年 ゲチースエンハールキュンデヘ ハンドブック ヲーフルデ  
オーグシーキアン エンゲブキレッツケン、イン、デルセルフル、ケ  
ヘーレンラムファンゲ 全二冊 松隈 百二十二頁

Onsenoort, Antonius Gerardus van (1782-1841), Genees-en heekundig handboek over de oogzichten en gebreken in delzelve geheelen omvang. Amsterdam, Sulpke, 1839-40.

オンセノールト著『眼科学及び外科学のハンドブック』

『14』 治療用袖珍書 ドル、カルト、キリスチャン、アントン 千八百五十二年 フラルレヂフ、パトロキセ、ケラルデント、サックブック、デル、メースト ベプルーフデ、ゲチースキュンデヘ ホールシキ  
リーテン ホールイン ウエンヂヘシーキテン 島田 全一冊 六十六頁

Karl Christian Anton, Volledig pathologisch geordend zakboek der meest beproefde geneeskundige voorschriften voor vrouwen-en kinderziekten : met therapeutische aanwijzingen en noodige

opmerkingen omtrent de bijzondere aanwending der voorschriften. Tiel : Campagne, 1852.

【オリジナル言語ドイツ語】

Vollständiges, pathologisch geordnetes Taschenbuch der bewährtesten Heilformeln für Frauen- und Kinderkrankheiten : mit therapeutischen Einleitungen und den nöthigen Bemerkungen über die specielle Anwendung der Recepte : für praktische Aerzte, Geburtshelfer und Wundärzte. Leipzig, Wöller, 1852.

アントン著『婦人と子供のための病理学的に系統立てられた教本』

『15』 内外並産科書 千八百五十一年 ニーヴエポールハーヘプラリチセ、メーデテリーリッゲン、ニイト、ヘット、ゲヒット、デル、ゲチースヘル、フルロスキュンデ、エン、ゲチースミッテレン 全一冊 大庭 六十五頁

Vereeniging van Vaderlandsche Genees-, Heel-en Verloskundigen. : De nieuwe Boerhaave : praktische mededeelingen uit het gebied der genees-, heel-en verloskunde en geneesmiddelleer. Wijk bij Duurstede, 1849-1851.

『新ポールハーヴェー雑誌—治療学、外科学、産科学、治療薬—』

『16』 子宮外妊娠ノ書 イ、ファン、ゲウンス、エン、イ、ム、スクラント著、千八百五十五年、ヲーフル、ボイテンバールムードレイゲ、スワンゲルスカップ 全一冊 島田 四十二頁

Geuns, J. van & Schrant, J. M. Over Buitenbaarmoederlijke Zwangerschap, met lithopaedium-Vorming, naar Aanleiding van eeg geval. Amsterdam : C.G. van der Post, 1855. 80 pp. 7 plates.

(注) 雑誌 Verhandelingen van het Genootschap ter Bevordering der Genees-en Heelkunde. Deel 2. の抜粋

フーンヌ、スフラント著『一症例にもとづく石児を伴う子宮外妊娠に  
つゝ』

『17』 眼科書<sup>(9)</sup> イ、ア、ファン、デ、ワートル著 千八百三十八年 ヘロ  
ノップト、ドグ、ソーフェールモーヘレイキ、フアールレナダホン  
ドブック、ホール、デ、レール 三十五頁 全一冊 大石

Water, Johannes Adrianus van de (1800-1832), Beknopt doch zoo  
veel mogelijk volledig handboek voor de leer der Geneesmiddelen.  
(Materies Medica.) Door Wijlen J. A. Van De Water. Derde  
Verbeterde En Vermeerderde Uitgaf Door M.W. Plagge. Med : et  
Chir : Doctor. Hoogleeraar aan de Hoogeschool te Giessen. Lid van  
Onderscheidene geleerde genootschappen, Amsterdam, bij C. G.  
Sulcke. 1838. MDCCCXXXVIII. XXXII, 582 pp. (232×140mm)

ワートル著『薬学提要』  
治療書 オット、ウエルトミュレル著 千八百四十九年、プラク  
チセハンドブック、デル、ラーグヘールキユンデ 三十三頁五分  
全一冊

Werdmüller, Johann Georg Otto (1818-1886. スイス人), Practisch  
handboek der oogheelkunde, Leyden, Gebhard, 1849

【オリジナル言語ドイツ語】

Practisches Handbuch der Augenheilkunde zum Gebrauche für  
Aerzte und Studierende, Zürich, Orell, Füssli, 1849

ヴェルトミュラー著『眼科学便覧』

『19』 治療書 ア、ベラルド著、千八百三十二年、オーフル、デ、ヘルケ

ニンング、デル、ヘールキユンデゲ、シーキテン、デルセルフル、  
ヒュルプブロン子ン、オンセーケルヘーデンエン、トワーリンゲン  
三十三頁 全一冊

Bérard, Auguste, Over de herkenning der heekkundige ziekten,  
derzelver hulpbrommen, onzekerheden en dwalingen. Uit het  
Fransch vertaald en met waarnemingen vermeerderd door  
Emmanuel Stein. Leiden, D. Noothoven Van Goor, 1852. (4), 217pp.

【オリジナル言語フランス語】

Bérard, Auguste & Denonvilliers, C. Compendium de chirurgie  
pratique, ou traité complet des maladies chirurgicales et des  
opérations que ces maladies réclament. / Tome premier, Paris :  
Béchet jeune et Labé, 1840.

ベラル著『外科診断論』

『20』 神経病書 マルサハル、ハルル 千八百四十五年 ヘセー◎◎ース  
アルセル、エン、デスセルフス、シーキテン 七十頁 全一冊 島  
田

Hall, Marshall (1790-1857), Het zenuwstelsel, en deszelfs ziekten in  
hare grondvormen en wijzigingen, Amsterdam, Van Bommel van  
Vloten, 1845.

【オリジナル言語英語】

Lectures on the nervous system and its diseases, London : Printed  
by W. Taylor, 1838. 100pp. : ill. : 22 cm.<sup>(2)</sup>

マーシャル・ホール著『神経系統とその疾患』

『21』 病人究理書 ル、フ、ペルシルン著 千八百四十年 ハンドレーヂ

ング、デル、アルメー子、ナチュールキュンデ、ファン、デン、レー  
ケンメンズ 五十五頁 全一冊 島田

Persille, L.F.; Handleiding der algemeene natuurkunde van den  
zieken mensch, ten gebruike bij het onderwijs aan's rijks  
kweekschool voor militaire geneskundigen, Utrecht: van Terveen,  
1850.

ペルシルレ著 『オランダ国立医学校教育用 一般医学提要』

『22』 冷水有用ノ書 カ、エ、キルムッセ コウドワートル、デ、エーン  
ホウチフステ、ガフエ、デル、ナチュールデルベワーリング、エ  
ン、ヘルステルリング、デル、ゲンンドヘイド 十一頁 全一冊  
島田

Kirmse, Karl Eduard, Koud water, de eenvoudigste gave der  
natuur, ter bewaring en herstelling der gezondheid, de eenvoudig-  
ste gave der natuur, ter bewaring en herstelling der gezondheid,  
Amsterdam: Van Kesteren, 1850.

【オリジナル言語ドイツ語】

Kalt Wasser, die einfachste Gabe der Natur zur Heilung von  
Körper- und Seelenkrankheiten: Für gebildete Stände von Karl  
Eduard Kirmse, Altenburg Jul. Helbig, 1842.

キルムッセ著 『冷水、健康維持のための自然の最も簡単な贈り物』

『23』 腫物取扱ノ書 ヘンレイ、カプマン著 千八百五十一年 イーツ、  
ラーフル、デ、ベハンデリング、デル、スウエーレン、アーンデ、  
ラントルステ、レーデマートン、ベイ、フレイエ、プラーツペウエー

キング 十九頁 全一冊 井上仲民

Chapman, Henry Thomas (1806-1874), Iets over de behandeling  
der zweren aan de onderste ledematen, bij vrije plaatsbeweging. In  
het Nederduitsch overgebracht en met aantekeningen verm.,  
Schoonhoven, Van Nooten, 1851.

【オリジナル言語英語】

On the treatment of ulcers on the leg without confinement: with an  
inquiry into the best mode of effecting the permanent cure of  
varicose veins, London: Churchill, 1848.

カプマン著 『両脚の膿瘍の治療法について』

『24』 ◎汁運動ノ原因探究書 ユスチュス リービグ著 千八百四十九年  
ランドルスーキンゲン、ラーフル、エーニヘ ヲールサーケン、  
ファン、デ、ヌウエーキンゲ、デル、フォクテン、イン、ヘワト、  
ゲールレイキ、ラルガニスシユス 十八頁 全一冊 大庭

Justus von Liebig, Onderzoekingen over eenige oorzaken van de  
beweging der vochten in het dierlijk organismus, Groningen: K. de  
Ward, 1849.

【オリジナル言語ドイツ語】

Die Thier-Chemie: oder, Die organische Chemie in ihrer Anwen-  
dung auf Physiologie und Pathologie, Braunschweig, F. Vieweg,  
1843.

リービッヒ著 『有機化学の生理学および病理学への応用』

『25』 産科書 イ、プ、マイクロール著 千八百三十八年 ホルレーヂへ、  
フルサーメリング、ファン、フルロスキュンヂゲ 百六十二頁 全

二冊

Maygrier, Jacques Pierre (1771-1835), Volledige verzameling van afbeeldingen, uit den geheelen omvang der theoretische en practische verloskunde : met eene uitvoerige beschrijvende verklaring derzelve, Amsterdam : Bij C.L. Schleyer, 1838.

【オリジナル言語ドイツ語】

Abbildungen aus dem Gesamtgebiete der theoretisch-praktischen Geburtshülfe, nebst beschreibender Erklärung derselben. Mit theilweiser Beibehaltung der Abbildungenes Maygrier, von Ed. C.P. von Siebold, 2te umgearb. U. vermehrte Auflage, Erlin, 1833.

【オリジナル言語フランス語】

Nouvelles démonstrations d'accouchemens : avec des planches en taille-douce, Paris, Béchét, 1822-1827.

メグリエ著 『図版集成 産科学の理論と実践』

『26』 青木弥ノ書 ム、ト、ローセル著 千八百四十二年 ハンドレーチング、トット、デ、レール、テルフルバンテン 二十七頁 全一冊  
井上仲民

Troschel, Maximilian, Handleiding tot de leer der verbanden, Utrecht, Van der Monde, 1842

【オリジナル言語ドイツ語】

Chirurgische Verbandlehre : zwölf Kupfertafeln mit Beschreibung, Berlin, Ensin, 1841.

トローシエル著 『繙帯講義提要』

『27』 腹病治療書 エ、ハ、ヘース著 千八百五十三年 キリンキーデ

ル、ボイクシーキテン 四十二頁 全一冊 城島

Henoch, Eardard H., Kliniek der buikziekten, Utrecht, 1853.

【オリジナル言語ドイツ語】

Klinik der Unterleibs-Krankheiten, Berlin, Hirschwald, 1852-1858.  
ヘノッホ著 『腹部疾患の診療』

『28』

湿病治療書 カルル、カンスタット著 千八百四十七年 シーキテ、エン、ゲ子ーシングスレール、ファン、デ、セイリピス ヲフ フラーニユスシキテン 二十五頁 全一冊 城島

Karl Friedrich Cannstatt (1807-1850), De ziekte-en geneezingsleer van de syphilis of venusziekte, uit een klinisch standpunt bewerkt, Utrecht, Van der Post, 1849

カンスタット著 『梅毒の発病と治療』

『29』

医書 イ、ブ、マイグリール著 千八百二十四年 ハンドブック ホール、デ、プラクチセ、エンテマリチセ ヲントレードキュンデ 七十頁 全二冊

Maygrier, Jacques Pierre (1771-1835), Handboek voor de praktische en theoretische ontleedkunde, Naar de vierde vermeerderde en verbeterde uitgave uit het Fransch vertaald door G.J. van Epen, Amsterdam, C.G. Sulpke, 1824. 2 vols.

【オリジナル言語フランス語】

Manuel de l'anatomiste : ou, Traité méthodique et raisonné sur la manière de préparer soi-même toutes les parties de l'anatomie, 4 e éd. 1818.

メグリエ著 『解剖学の理論と実践』

『30』 内外科薬房書 人名なし 千八百五十一年 レセプテールキュンデ

ホール、ゲ子ース、エン、ハールキュンヂン 二十五〇匁 全一冊 牧

Een hoogleraar en geneesheer 著

Recepteerkunde voor genees- en heekkundigen, naar het tegenwoordige standpunt der schei- en geneeskunde, en hoofdzakelijk met inachtneming van eenvoudigheid en goedkoopte der voorchriften. Amersfoort, Van Bommel van Vloten, 1846.

教授と医師共著 『今日の化学と医学を用いた医薬品と外科学の対処法』

『31』 産科書ド、ウハ、ビュス著 千八百四十六年 レールブック、デル、フルロスキュンデ 八十匁 全一冊 牧

Busch, Dietrich Wilhelm Heinrich (1788-1858), Leerboek der verloskunde, als handleiding bij academische voorlezingen en eigene beoefening van dit vak. Amsterdam, 1846.

【オリジナル言語ドイツ語】

Lehrbuch der Geburtskunde : Ein Leitfaden bei akademischen Vorlesungen, etc. Marburg, C. Garthe, 1829.

ブッシュ著 『産科のテキスト』

『32』 産婦病 エ、グ、ス、ベルンドト著 千八百四十八年 カラームフ  
ロウウエン シーキテン 六十八匁 全一冊

Berndt, Eduard Gebhard Friedrich (1817-1846), De kraamvrouwen-ziekten, Utrecht : [s.n.], 1848.

【オリジナル言語ドイツ語】

Die Krankheiten der Wöchnerinnen. Heyder, Erlangen, 1846.  
ベルント著 『産婦人病』

『33』 産科図 人名記せず 千八百四十四年 エトラス、ハン、フルロス

キュンヂン、アプバルヂンゲン 八十匁 全一冊 牧

Busch, Dietrich Wilhelm Heinrich, Atlas van verloskundige afbeeldingen : in verband met het Leerboek der verloskunde Amsterdam : H. Frijlink, 1844.

【オリジナル言語ドイツ語】

Atlas geburtshüllicher Abbildungen, mit Bezugnahme auf das Lehrbuch der Geburtskunde. Berlin, Hirschwald, 1841.

ブッシュ著 『図解 産科のイラスト』

『34』 眼科書 イグナス メール著 千八百五十二年 ヘルノップトハン  
トブックデルラーグハールキュンデ 四十九匁 全一冊 大石

Meyr, Ignaz, Beknopt handboek der oogheekkunde, Utrecht, Van Heijningen & Post, 1852.

【オリジナル言語ドイツ語】

Compendium der Augenheilkunde, Wien : Wilhelm Braumüller, 1852.

マイヤー著 『眼科学のハンドブック』

『35』 子宮病及治療書 テラドル ファレンチ子ル著 千八百五十三年  
ヘイステリー、エン、ハアレ、ゲ子ースング 三十五匁 全一冊

島田

Valentiner, Theodor, De hysterie en hare geneezing, Utrecht, Van

der Post, 1853.

【オリジナル言語ドイツ語】

Die Hysterie und ihre Heilung, Erlangen, Enke, 1852.

フアレンチル著『子宮病と治療』

『36』 炎症治療書 カルンス ウエスト、ム、ト著 千八百五十四年

レッセン ラーフル デ シーキテン、ファン 八十四頁 全一冊

島田

West, Charles, Lessen over de ziekten van zuigelingen en kinderen.

Naar de tweede verm. uitg. uit het Engelsch vert. door P.C. Tijken.

Tiel, Campagne, 1854, XII, 39, 576pp.

【オリジナル言語英語】

Lectures on the diseases of infancy and childhood, London,

Longman, 1854.

ウエスト著『乳幼児の病気に關する講義』

『37』 肺病診断書 ル、イ、サンデルス、ハン、ロー著 千八百五十四年

デ、ヘルケンニング、ハン、デ、シーキテン、テル、ロンゲン

十三頁 全一冊 島田

Hans Locher, Sanders van Loo, L.J., De herkenning van de ziekten

der longen door middel van percussie van aucculatie : een leerboek

ten dienste van studenten en praktiserende geneesheren, Tiel :

Campagne, 1854.

【オリジナル言語ドイツ語】

Locher, Hans, Die Erkenntniss der Lungen-Krankheiten vermit-

telst der Percussion und Auscultation ein Lehrbuch bearbeitet für

Studirende und praktische Aerzte, Zürich Schulthess, 1853.

ロツヒャー著『医学生及び臨床医のための肺の病気の診断』

『38』 外科書 マクス、ヨス、セリウス著 千八百四十三年 レールブツ

ク、デル、ホールキュンデ 二百六十五頁 全四冊 井上仲民

Chelius, Maximilian Joseph Chelius (1794-1876), Leerboek der

heelkunde, Amsterdam : C.G. Sulpke, 1843.

【オリジナル言語ドイツ語】

Handbuch der chirurgie : zum Gebrauche bei seinen Vorlesungen,

German : 6. verm. und verb. Original-aufl., Heidelberg und Leipzig :

Neue Akademische Buchandlung von Karl Groos ; Wien : Bei Karl

Gerold, 1843.

セリウス著『外科教本補卷』

『39』 製薬書 プ、イ、カムバグ子ス著 一八五四年 ハンドブック

ホルトローグステンエンアポテーケルス 七十五頁 全一冊

P. J. Campagne, Handboek voor droogisten - en apothekers-leerling-

en. Geheel vernieuwd en in verband met Pharmacopoea Neerlandi-

ca bew. Door R.J. Opwijrda en H. loete Nortier. Tiel, Campagne,

1854, iv, 630, 55, [3] pp.

シャンパーニユ著『薬品商・薬剤師見習便覧 オランダ薬局方対応

新版』

『40』 劳咳治療書 リカルド、ハイ子、コットン著 一八五三年 デ、

アールド、フルシケインセレン、エン、ベハンデリングデルテリー

ン 三十頁 全一冊 島田

Richard Payne Cotton, De aard, verschijnselen en behandeling der



ting Amsterdam, Van der Post, 1853.

【オリジナル言語英語】

Clinical Lectures on the Physical Diagnosis of Phthisis, London : Wilson & Ogilvy, 1849 in the London Medical Gazette. からの抜粋  
 ロットン著 『結核の性質、症状と治療法』

注

- (1) 本稿は平成二五年一二月に行われた佐賀医学史研究会（於佐賀市）、日本医学史学会・日本薬史学会・日本獣医史学会・日本歯科医学史学会・日本看護歴史学会・洋学史学会合同一二月例会（於順天堂大学）における講演内容、及び小澤健志「佐賀藩が安政五年に購入したオランダ語の医学書について」（『日本医学雑誌』、二〇一四、六〇、三）三三三―三三四頁に基づいている。
- (2) 鍵山栄「佐賀の蘭学者たち」（佐賀新聞社、昭和五一年）、及び青木歳幸「小城藩医の医学稽古」（『佐賀大学地域学歴史文化研究センター研究紀要』第四号、二〇一〇）一―三〇頁。
- (3) 幕末の佐賀藩が所有していた洋書（すべてオランダ語の書籍）の目録は、佐賀県立図書館に保管されている。この複製は、同図書館郷土史資料室で自由に閲覧、複写できる（『洋書目録』・資料請求番号：S 複鍋/091/046）。またこの目録については、板沢武雄『日蘭文化交流史の研究』（吉川弘文館、一九五九）五八五―五六三頁において、佐賀鍋島藩元侯爵家蘭書目録<sup>29</sup>というタイトルで紹介されており、医学書については同書六四一―六四九頁で紹介されている。さらにこの目録に記入されている書籍についての研究成果として、松田清編『佐賀鍋島家「洋書目録」所収原書復元目録』平成一七年度文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「蘭学基礎資料の調査・研究」課題番号：14023102。成果報告書がある。以後、本稿ではこの文献を『洋書目録』と記す。また、この中の医学書についての考察として、小澤健志「佐賀藩が所有していたオランダ語の医学書」（『佐賀大学地域学歴史文化研究センター研究紀要』第八号、二〇一四）一五―二九頁がある。筆者が佐賀県立図書館郷土資料室で佐賀藩が所有していた洋書、蘭書の目録について調べたところ、上述の目録以外で次の三つの史料があることがわかつた。

- これらのオリジナル史料はすべて同図書館に保管されており、複製を同図書館資料室で閲覧、複写できる。「旧佐賀藩元開成学校書籍保存所」資料請求番号：S 複図/091/「蘭書目録」。資料請求番号：S 複鍋/091/050/、及び「大正十一年調製 鍋島家蔵書目録」資料請求番号：S 複図/091/。また、佐賀県内に現存する佐賀藩の旧蔵蘭書をまとめた研究成果として、松田清編『佐賀藩旧蔵蘭書目録』平成一六年度文部科学省科学研究費補助金特定領域研究（一）・蘭学基礎資料の調査・研究 課題番号：14023102。研究報告書がある。
- (4) 注(3)の板沢の文献、及び『洋書目録』を参照。
- (5) 注(3)の小澤の文献、二〇頁を参照。
- (6) スイス人一名、オーストリア人一名を含むドイツ語圏人が一九名である。つまり、ドイツ語がオリジナルである書籍が一九冊ということである。
- (7) 「安政五年十二月御買入蘭書目録」に収録されている（『武藤文庫 新発見資料目録』、目録番号：51/主題：貿易・外交・諸外国、整理番号：21）。以後、本稿では『安政五年医学書目録』と記す。この目録によると購入分野内訳は、医学書三九種類、書籍四二冊の他に理学書九冊、兵学二七冊、算術書三二冊など、合計で五二種類の書籍を一七六冊購入している。以後、この本稿ではこの中の医学書を取り上げる。
- (8) 「好生館」は現在、（独）佐賀医療センター好生館に引き継がれている。
- (9) E. H. アッカーケネヒト著、館野訳『パリ病院―1794-1848』（思索社、一九七八）。
- (10) 石田純郎『蘭学の背景』（思文閣出版、一九八八）一五六―一五七頁と『洋書目録』、及び注(3)の小澤の文献、二八―二九頁によると、1850年代にユトレヒト陸軍軍医学校で使用されていたテキストは、『3』（薬学書）、『4』（軍医学管理書）、『21』（一般医学書）の3冊である。
- (11) これらの書籍は、「添付資料1 安政五年医学書目録」に記載されており、以後、この目録に記載されている書籍はナンバリングされている番号をカッコ(II)で記す。
- (12) この目録で最も古い書籍は、一八二二年から一八三六年にかけて出版された『7』である。但し、『29』はフランス語版がオリジナル版で一八一八年に出版され、そのオランダ語の翻訳版が一八二四年である。また、最も新しい書籍は、佐賀藩が購入した安政五年の二年前の一八五六年（安政三年）に出版された『4』である。

- (13) 出版年が複数年にまたがる場合は、初年度の年代でカウントしている。例えば、『1』は一八三六年、『2』は一八五四年、『7』は一八二三年でカウントしている。
- (14) 1854—1858年出版の八冊〔2〕、〔3〕、〔4〕、〔10〕、〔16〕、〔36〕、〔37〕、〔39〕。
- (15) 1849—1853年出版の一三冊〔14〕、〔15〕、〔18〕、〔19〕、〔21〕、〔22〕、〔23〕、〔24〕、〔27〕、〔28〕、〔34〕、〔35〕、〔40〕。
- (16) 1844—1848年出版の七冊〔5〕及び〔11〕、〔8〕、〔20〕、〔30〕、〔31〕、〔32〕、〔33〕。
- (17) 1839—1843年出版五冊の内訳〔9〕、〔12〕、〔13〕、〔26〕、〔38〕。
- (18) 1834—1838年出版四冊の内訳〔1〕、〔6〕、〔17〕、〔25〕。
- (19) 1829—1833年出版物の該当なし。
- (20) それ以前の出版二冊の内訳〔7〕、〔29〕。
- (21) 1854—1858年出版七冊の内訳。オランダ語六冊〔2〕、〔3〕、〔4〕、〔10〕、〔16〕、〔39〕。英語一冊〔36〕。
- (22) 1849—1853年出版一〇冊の内訳。オランダ語三冊〔15〕、〔21〕、〔28〕、ドイツ語六冊〔14〕、〔18〕、〔27〕、〔34〕、〔35〕、〔37〕。英語一冊〔40〕。
- (23) 1844—1848年出版三冊の内訳。オランダ語一冊〔30〕、ドイツ語一冊〔32〕、英語一冊〔23〕。
- (24) 1839—1843年出版九冊の内訳。オランダ語二冊〔9〕、〔13〕、ドイツ語六冊〔8〕、〔22〕、〔24〕、〔26〕、〔33〕、〔38〕、フランス語一冊〔19〕。
- (25) 1834—1838年出版三冊の内訳。オランダ語一冊〔17〕、ドイツ語一冊〔12〕、英語一冊〔20〕。
- (26) 1829—1833年出版三冊の内訳。ドイツ語一冊〔31〕、フランス語二冊〔1〕、〔5〕及び〔11〕。
- (27) それ以前出版四冊の内訳。オランダ語一冊〔7〕、ドイツ語一冊〔6〕、フランス語二冊〔25〕、〔29〕。
- (28) 注〔9〕の文献を参照。
- (29) 幕末の佐賀藩が所有していて蘭書リストである「洋書目録」を考察した注〔3〕の小澤の文献、一五—二九頁を参照。
- (30) 表三と表四の合計冊数は、のべ五一冊になっているのは、一冊で複数の分野について記述されているものをカウントしたためである。例えば、『13』は、眼科学(書)と外科学(書)の二つの書籍として、同様に『32』は産科学と婦人学の二つの書籍としてカウントしている。
- (31) 解剖学書四冊(ドイツ語一冊)〔12〕、オランダ語一冊〔9〕、フランス語二冊〔1〕、〔29〕。
- (32) 生理学書二冊(ドイツ語一冊)〔24〕、オランダ語一冊〔21〕。
- (33) 衛生学書一冊(フランス語一冊)〔5〕及び〔11〕。
- (34) 病理学書三冊(ドイツ語三冊)〔2〕、〔14〕、〔24〕。
- (35) 薬学書五冊(オランダ語五冊)〔3〕、〔15〕、〔17〕、〔30〕、〔39〕。
- (36) 外科学書七冊(ドイツ語一冊)〔38〕、オランダ語四冊〔7〕、〔13〕、〔15〕、〔30〕、フランス語二冊〔5〕及び〔11〕、〔19〕。
- (37) 内科学書一冊(フランス語一冊)〔5〕及び〔11〕。
- (38) 産科学書六冊(ドイツ語三冊)〔31〕、〔32〕、〔33〕、オランダ語二冊〔15〕、〔16〕、フランス語一冊〔25〕。
- (39) 眼科学書四冊(ドイツ語二冊)〔18〕、〔34〕、オランダ語二冊〔10〕、〔13〕。
- (40) 婦人科学書二冊(ドイツ語一冊)〔35〕、オランダ語一冊〔32〕。
- (41) 小児科学書一冊(英語一冊)〔36〕。
- (42) その他一五冊(ドイツ語八冊)〔2〕、〔6〕、〔8〕、〔22〕、〔26〕、〔27〕、〔28〕、〔37〕、オランダ語三冊〔4〕、〔15〕、〔28〕、フランス語一冊〔5〕及び〔11〕、英語三冊〔20〕、〔23〕、〔40〕。
- (43) 注〔42〕にあるように一四冊のうち、治療書は次の九冊である。〔2〕、〔6〕、〔8〕、〔27〕、〔28〕、〔28〕、〔5〕及び〔11〕、〔23〕、〔40〕(添付資料1 安政五年医学書目録を参照)。
- (44) 二四冊の内訳は次の通りである。以下の基礎医学書一冊と臨床医学書一六冊を合計すると二七冊となり、三冊の誤差が生じる。その理由は、『5』及び〔11〕を衛生学書、その他、外科学書、内科学書の四分野でカウントしているからである。基礎医学書一冊(解剖学書四冊)〔1〕、〔9〕、〔12〕、〔29〕、生理学書一冊〔21〕、衛生学書一冊〔5〕及び〔11〕、病理学書二冊〔2〕、〔14〕、薬学書三冊〔3〕、〔17〕、〔39〕。臨床医学書一六冊(外科学書三冊)〔5〕及び〔11〕、〔13〕、〔38〕、内科学書一冊〔5〕及び〔11〕、産科学書二冊〔31〕、〔33〕、眼科学書三冊〔10〕、〔18〕、〔34〕、小児科学書一冊〔36〕、その他六冊〔4〕、〔5〕及び〔11〕、〔6〕、〔20〕、〔37〕、〔40〕。

- (45) 一三冊の内訳は次の通り。基礎医学書一冊(病理学書一冊〔24〕)。臨床医学書一冊(外科学書二冊〔7〕、〔19〕)、産科学書三冊〔16〕、〔25〕、〔32〕)、婦人科学書一冊〔35〕)、その他六冊〔8〕、〔22〕、〔23〕、〔26〕、〔27〕、〔28〕)。
- (46) 二冊は上級者用書籍(学術雑誌、及び教授と医師の共著)〔15〕、〔30〕、以上二冊。
- (47) 書籍数三九冊と著者数四三名が異なるのは、次の三冊の書籍が複数名で執筆されたためである。『2』の著者が二名、同様に『8』が二名、『16』が二名(添付資料1安政五年医学書目録を参照)。
- (48) 大学教師二名の内訳。ドイツ語圏人一〇名(ドイツ人九名〔12〕、〔26〕、〔27〕、〔28〕、〔31〕、〔32〕、〔33〕、〔35〕、〔38〕)、オーストリア人一名〔34〕)、オランダ人一名〔34〕)、フランス人一名〔1〕)。
- (49) 地方医学校教師二名の内訳。ドイツ語圏人一名〔2〕)、オランダ人一名〔16〕)。
- (50) 病院医学校教師二名の内訳(フランス人一名〔25〕及び〔29〕のメグリエ、イギリス人一名〔36〕)。
- (51) 軍医学校教師二名の内訳。オランダ人二名〔3〕、〔21〕)。
- (52) 医師一四名の内訳。(ドイツ語圏人六名(ドイツ人五名〔2〕のリヒター、〔6〕、〔8〕のライヒセンベルク、〔14〕、〔23〕、スイス人一名〔37〕)、オランダ人四名〔7〕、〔13〕、〔16〕のスフラント、〔30〕)、フランス人一名〔5及び11〕のフォルジュ、〔19〕)、イギリス人二名〔20〕、〔40〕)。
- (53) 薬剤師一名の内訳。オランダ人一名〔39〕)。
- (54) その他四名の内訳。ドイツ人三名〔2〕、〔8〕のジーベンハール、〔18〕、〔24〕、オランダ人一名〔2〕のレヴィー)。
- (55) 不明六名の内訳。ドイツ人一名〔22〕)、オランダ人五名〔4〕、〔9〕、〔10〕、〔15〕、〔17〕)。
- (56) 基礎医学書(一八冊)及び基礎医学書(四二冊)の総合計は六〇冊となり、書籍数三九冊と一致しないのは、単著で複数の分野を記述している書籍があるためである。例えば、『24』は生理学書及び病理学書としてカウントし、『30』は薬学書及び外科学書としてカウントしている。
- (57) 大学教師三冊の内訳。解剖学書二冊〔1〕、〔12〕)、薬学書一冊〔30〕)。
- (58) 地方医学校教師一冊の内訳。病理学書一冊〔2〕)。
- (59) 病院医学校教師一冊の内訳。解剖学書一冊〔29〕)。
- (60) 軍医二冊の内訳。生理学書一冊〔21〕)、薬学書一冊〔3〕)。
- (61) 医師四冊の内訳。衛生学書一冊〔5及び11〕)、病理学書二冊〔2〕、〔14〕)、薬学書一冊〔30〕)。
- (62) 薬剤師一冊の内訳。薬学書一冊〔39〕)。
- (63) その他三冊の内訳。生理学書一冊〔24〕)、病理学書二冊〔2〕、〔18〕)。
- (64) 不明三冊の内訳。解剖学書一冊〔9〕)、薬学書二冊〔15〕、〔17〕)。
- (65) 大学教師一冊の内訳。外科学書二冊〔30〕、〔38〕)、産科学書三冊〔31〕、〔32〕、〔33〕)、眼科学書一冊〔34〕)、婦人科学書二冊〔32〕、〔35〕)、その他三冊〔26〕、〔27〕、〔28〕)。
- (66) 地方医学校教師二冊の内訳。産科学書一冊〔16〕)、その他一冊〔2〕)。
- (67) 病院医学校教師二冊の内訳。産科学書一冊〔25〕)、小児科学書一冊〔36〕)。
- (68) 軍医の著書該当なし。
- (69) 医師一八冊の内訳。外科学書五冊〔5及び11〕、〔7〕、〔13〕、〔19〕、〔30〕)、内科学書二冊〔5〕、〔11〕)、産科学書一冊〔16〕)、眼科学書一冊〔13〕)、その他九冊〔2〕、〔5〕、〔6〕、〔8〕、〔11〕、〔20〕、〔23〕、〔37〕、〔40〕)。
- (70) 薬剤師の該当著書なし。
- (71) その他三冊の内訳。眼科学書一冊〔18〕)、その他二冊〔2〕、〔8〕)。
- (72) 不明六冊の内訳。外科学書一冊〔15〕)、産科学書一冊〔15〕)、眼科学書一冊〔10〕)その他三冊。
- (73) 七名の購入者氏名、当時の肩書き、及び専門分野を特定するにあたり、参考にしたのは注(2)の鍵山の文献、及び青木歳幸「佐賀藩『医薬免札姓名簿』について」〔佐賀大学地域学歴史文化センター研究紀要〕第三号、二〇〇九年三月、三五―七〇頁である。大石良英の肩書きは、鍵山の文献、七三頁、免状分野は青木の文献、三六頁及び三九頁を参照。牧春堂の肩書きは、鍵山の文献、一三頁及び一四頁を参照。城島淡堂の肩書きは、八八頁、免状分野は青木の文献、三六頁及び三八頁を参照。井上仲民の肩書きは、青木の文献、免状分野は青木の文献、六一頁を参照。上仲民の肩書きは、青木の文献、免状分野は青木の文献、四九頁を参照。大庭雪斎の肩書きは、鍵山の文献、六九頁及び七一頁、免状分野は青木の文献、三八頁を参照。林梅馥の肩書きは、鍵山の文献、一二頁、免状分野は青木の文献、三九頁を参照。松隈元南の肩書きは、青木の文献、三七頁及び三八頁、免状分野は青木の文献、38頁を参照。
- (74) このリストの見方であるが、最初に各書籍にカギカッコ〔 〕を付けてナンバ―

リングをしているが、現物にはされておらず、筆者が付けたものである。それに続いてオランダ語読みをカタカタ読みした著者名、出版年、書籍名が記載されており、さらに佐賀藩が転売した者の名前（苗字のみ）と、その代金が記載されている。転売した者の名前と、代金は朱字で記載されている。以上が、安政五年医学書目録に記載されている事項を書き起こしたものである。そして下段には、カタカナ読みされているオランダ語を筆者がオランダ語に読み起こして、それを『洋書目録』とドイツ・カールスルーエ工科大学図書館の検索システム ([www.ubk.uni-karlsruhe.de/kvk.html](http://www.ubk.uni-karlsruhe.de/kvk.html)) で実在の書籍とマッチング作業を行ない、オランダ語の著者名（生没年）、タイトル、出版社名、出版年を記載している。未解読の部分は「◎」と記している。さらに、書籍が多言語からの翻訳書である場合は、そのオリジナル言語版も記載している。そして、最下段には、日本語で著者名と簡略した書籍タイトルを記載している。日本語での記載の際には、『洋書目録』を参照した。これらの文献に記載されていない書籍のタイトルは筆者が記載した。書籍の購入価格と思われる匂と言う単位であるが、一匁はおよそ銀三、七五グラムである。

(75) 目録には「眼科書」と記載されているが、該当すると思われる書籍は本稿で記載しているように薬学書である。筆者が注(73)のドイツ・カールスルーエ工科大学図書館の検索システムで著者名ワートル (Water) で検索しても、該当する書籍（眼科学書）を見つけることはできなかった。記載した人物の記入ミスであると思われるが、本稿では目録通りに記載している。

(76) 佐賀県内に現存する佐賀藩の旧蔵蘭書をまとめた研究成果として、松田清編『佐賀藩旧蔵蘭書目録』平成一六年度文部科学省科学研究費補助金特定領域研究(1) 蘭学基礎資料の調査・研究 課題番号:14023102. 研究報告書、一二頁では、英語のオリジナルは *On the Diseases and Derangements of the Nervous System*, London, 1841 *v* New Memoir on the Nervous System. Hippokre Baillere: London, 1843 となっているが、本稿では、注(73)のドイツ・カールスルーエ工科大学図書館の検索システムに依存している。